

ルーマニア

2022年11月30日

海外調査部・ブカレスト事務所

2021年の貿易は、新型コロナウイルス感染拡大による落ち込みを脱し、輸出額は前年比20.1%増、輸入額は22.1%増と、ともに力強い回復を見せた。貿易赤字は8年連続の拡大となった。対内直接投資は再生可能エネルギーの案件が目立った。対日貿易は昨年に引き続き黒字だった。2021年の日本企業による投資案件としてはインフラの他、ベアリング製造が確認された。

■貿易赤字は慢性化も、鉄鋼の輸出は大幅増加

2021年の貿易は、輸出が前年比20.1%増の747億100万ユーロ、輸入が22.1%増の984億100万ユーロとなり、ともに新型コロナ感染拡大前の2019年の水準を上回った。貿易赤字は237億ユーロとなり、8年連続で拡大した。

輸出を品目別にみると、ほぼ全ての品目で前年から増加した。最大品目である機械・電気機器（構成比28.8%）は前年比15.5%増となった。その内訳は、電気機器および部品（17.6%）が13.8%増、原子炉・ボイラー・機械類（11.2%）が18.4%増であった。次に輸出額が大きい輸送用機器（16.2%）は3.6%増にとどまった。その他、鉄鋼（4.4%）が92.2%増と大幅に増加したことを受け、卑金属・同製品（10.6%）が50.1%増を記録、輸出額を押し上げた。

輸出を国・地域別にみると、全体の7割強を占めるEU（構成比72.4%）は前年比18.2%増となった。最大の輸出先であるドイツ（20.5%）は8.4%増にとどまったが、ハンガリー（5.7%）、ポーランド（4.0%）、ブルガリア（3.9%）、チェコ（3.1%）の中・東欧各国がそれぞれ37.2%増、28.5%増、29.8%増、21.6%増と増加した。

EU域外で最大の輸出先であるトルコ（3.5%）が24.7%増だったほか、米国（2.1%）が45.6%増、中国（1.5%）が36.8%増と好調だった。一方、英国（2.9%）は3.7%増にとどまった。

表1 ルーマニアの主要品目別輸出入

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	構成比	金額	伸び率	金額	構成比	伸び率	
機械・電気機器	18,627	21.524	28.8	15.5	22,493	25.774	26.2	14.6
電気機器および部品	11,576	13.174	17.6	13.8	12,566	14.433	14.7	14.9
原子炉・ボイラー・機械類	7,051	8.350	11.2	18.4	9,927	11.341	11.5	14.2
輸送用機器	11,702	12.119	16.2	3.6	7,646	9.130	9.3	19.4
自動車・トラクター部品	5,390	5.560	7.4	3.1	3,394	3.769	3.8	11.1
乗用車	4,715	4.730	6.3	0.3	2,041	2.646	2.7	29.7
卑金属・同製品	5,268	7.906	10.6	50.1	7,976	10.859	11.0	36.1
鉄鋼	1,707	3.282	4.4	92.2	2,512	3.875	3.9	54.3
植物性生産品	3,351	5.427	7.3	61.9	2,922	3.133	3.2	7.2
穀物	2,169	3.627	4.9	67.2	703	6.41	0.7	△ 8.9
プラスチック・ゴム製品	3,631	4.610	6.2	27.0	5,575	7.297	7.4	30.9
繊維	3,123	3.245	4.3	3.9	4,725	4.856	4.9	2.8
雑製品	2,513	2.809	3.8	11.8	2,098	2.522	2.6	20.2
調製食料品・飲料・たばこ	2,603	2.779	3.7	6.8	3,813	4.487	4.6	17.7
鉱物性製品	1,617	2.776	3.7	71.7	4,684	8.183	8.3	74.7
化学品	2,289	2.630	3.5	14.9	9,088	10.911	11.1	20.1
合計（その他含む）	62,173	74.701	100.0	20.1	80,570	98.401	100.0	22.1

[注] EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。

[出所] ルーマニア国家統計局

■輸入は鉱物性製品と卑金属・同製品、国別では中国・トルコが大幅増加

輸入を品目別にみると、最大品目である機械・電気機器（構成比26.2%）が前年比14.6%増となっ

た。次に輸入額が大きい輸送用機器 (9.3%) は、乗用車 (2.7%) の 29.7% 増に牽引され、19.4% 増となった。また、卑金属・同製品 (11.0%) が 36.1% 増、鉱物性製品 (8.3%) が 74.7% 増となり、輸入額全体の伸びに寄与した。

輸入を国・地域別にみると、全体の 7 割強を占める EU (構成比 72.4%) が前年比 20.3% 増だった。ポルトガルを除くすべての EU 加盟国からの輸入が増加し、最大の輸入元であるドイツ (20.1%) が 18.4% 増、続くイタリア (8.9%) が 21.7% 増となった。またブルガリア (4.1%) が 61.8% 増と大きく伸びた。

EU 域外では、最大の輸入元である中国 (6.3%) が 22.5% 増、次いでトルコ (4.5%) が 25.6% 増となった。

2022年 1～5 月の貿易は、輸出が前年同期比 23.5% 増の 369 億 1,740 万ユーロ、輸入が 28.2% 増の 496 億 6,573 万ユーロと好調を維持している。貿易赤字は 38 億 9,883 万ユーロ拡大し、127 億 4,833 万ユーロだった。品目別では、輸出入ともに卑金属・同製品の輸出が 40.7% 増、輸入が 43.0% 増、鉱物性燃料・鉱物油の輸出が 77.3% 増、輸入が 2.1 倍となり、2021 年に続いて輸出入額の増加に寄与している。また輸出では、野菜製品が 90.5% 増、穀物が 81.0% 増など、ロシアのウクライナ侵攻に伴う世界的な供給不足などの影響による市場価格高騰がみられる品目の増加が目立った。

■対内直接投資は 2.4 倍に増加

ルーマニア国立銀行によると、2021 年の対内直接投資 (国際収支ベース、ネット、フロー) は 89 億 4,000 万ユーロと、前年の 3.0 倍に増加した。2022 年第 1 四半期は 28 億 8,705 万ユーロとなった。

2021 年末時点の対内直接投資残高は 1,002 億 8,800 万ユーロで、2020 年末 (907 億 7,300 万ユーロ) 比で 10.5% 増加した。国・地域内訳をみると、オランダ (22.1%)、ドイツ (12.5%)、オーストリア (12.2%)、イタリア (7.5%)、フランス (6.5%)、キプロス (6.3%) の順となった。日本からの対内直接投資残高は 6 億 100 万ユーロ (0.6%) で前年から 5,300 万ユーロ増加した。グリーンフィールド投資の対象地域は、全体の 63.1% が首都圏であった。最終投資決定が日本の投資家であるグリーンフィールド投資残高は 13 億 2,700 万ユーロだった。

2021 年の主な対内直接投資案件は、再生可能エネルギーや製造業分野が目立った。カナダのグラス

表 2 ルーマニアの主要国・地域別輸出入

(単位: 100 万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	45,778	54,094	72.4	18.2	59,239	71,264	72.4	20.3
ユーロ圏	35,103	40,340	54.0	14.9	42,267	50,283	51.1	19.0
ドイツ	14,156	15,341	20.5	8.4	16,740	19,814	20.1	18.4
イタリア	6,670	7,807	10.5	17.0	7,182	8,740	8.9	21.7
フランス	4,176	4,772	6.4	14.3	3,722	4,143	4.2	11.3
オランダ	2,196	2,567	3.4	16.9	3,123	3,875	3.9	24.1
スペイン	1,839	2,227	3.0	21.1	1,992	2,456	2.5	23.3
オーストリア	1,475	1,888	2.5	28.0	2,564	3,137	3.2	22.3
スロバキア	1,334	1,593	2.1	19.3	1,835	1,978	2.0	7.8
ベルギー	1,224	1,588	2.1	29.8	2,007	2,422	2.5	20.7
非ユーロ圏	10,675	13,754	18.4	28.8	16,972	20,981	21.3	23.6
ハンガリー	3,096	4,246	5.7	37.2	5,888	6,756	6.9	14.7
ポーランド	2,317	2,978	4.0	28.5	4,965	6,136	6.2	23.6
ブルガリア	2,258	2,931	3.9	29.8	2,503	4,050	4.1	61.8
チェコ	1,923	2,339	3.1	21.6	2,522	2,810	2.9	11.4
英国	2,073	2,150	2.9	3.7	1,404	888	0.9	△ 36.7
トルコ	2,100	2,620	3.5	24.7	3,517	4,418	4.5	25.6
米国	1,072	1,561	2.1	45.6	891	928	0.9	4.2
モルドバ	1,033	1,301	1.7	26.0	683	722	0.7	5.7
中国	829	1,135	1.5	36.8	5,064	6,205	6.3	22.5
ロシア	821	1,019	1.4	24.2	1,814	3,163	3.2	74.4
ウクライナ	587	706	0.9	20.3	934	1,342	1.4	43.7
日本	448	394	0.5	△ 12.0	297	359	0.4	20.7
韓国	226	370	0.5	63.5	490	517	0.5	5.3
カザフスタン	49	16	0.0	△ 66.8	1,126	1,473	1.5	30.8
合計 (その他含む)	62,173	74,701	100.0	20.1	80,570	98,401	100.0	22.1

[注] EU 域外貿易は通関ベース、EU 域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。
[出所] ルーマニア国家統計局

ホッパー・エナジーは11月、ルーマニアで最大1GWの太陽光発電プロジェクトの開発、建設、運営に関するパートナーシップ契約に署名したと発表した。2030年までに約10億ドルの投資が見込まれている。また、イタリアのアレリオン・クリーン・パワーは2月、ルーマニアのPVプロジェクト・ルーマニアと提携し、総設備容量約200MWの太陽光発電所を建設し、年内に33MWを稼働すると発表した。製造業分野では、ベルトラーム（イタリア）が7月に、3億ユーロを投じ鉄筋と線材の工場新設と、100MWの太陽光発電所の設置を発表した。ドイツのドラクスルマイヤーは6月に、2億ユーロを投じてティミショアラ工場にEV用部品の最新技術を導入すると発表、また生産エリアを3

表3 ルーマニアの主な対内直接投資案件（2021年1月～12月）

＜M&A以外＞					
業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
再生可能エネルギー	グラスホッパー・エナジー	カナダ	2021年11月	10億ドル	グラスホッパー・エナジーと、ルーマニアおよびモルダビアの貴族ストルツァ王子は、ルーマニアにおける最大1GWの太陽光発電プロジェクトの開発、建設、運営に関するパートナーシップ契約に署名したと発表。2030年までに約10億ドルの投資が見込まれる。
再生可能エネルギー	アレリオン・クリーン・パワー	イタリア	2021年2月	非公表	アレリオン・クリーン・パワーは、ルーマニアのPV Project ROと提携し、総設備容量約200MWの太陽光発電所を建設すると発表。ベルトラームは、環境に配慮した鉄筋および線材の工場をルーマニアに新設すると発表した。このプロジェクトには、製鋼所、圧延装置工場、100MWの太陽光発電所（ソーラーパーク）が含まれる。
金属加工	ベルトラーム	イタリア	2021年7月	3億ユーロ	ドラクスルマイヤーは、ティミショアラの工場にEV用部品生産の最新技術導入すると発表。今後6年間で生産エリアを3倍に拡張し、1,000人超の技術者を雇用する。
自動車設計	ドラクスルマイヤー	ドイツ	2021年6月	2億ユーロ	ブカレスト郊外モゴショアアの物流団地内に最先端技術を備えた3万8,000平方メートルのリース型物流倉庫の完成を発表。さらに2万2,000平方メートルのビルド・トゥ・スツツ型の倉庫の追加建設についても発表した。
物流・倉庫	ロジコール	英国	2021年12月	非公表	

＜M&A＞							
業種	被買収企業（事業）		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍				
通信	テレコム・ルーマニア・コミュニケーションズ	オレンジ	フランス		2021年9月	2億9,560万ユーロ	オレンジがテレコム・ルーマニアの株式54%の買収完了を発表。残り46%はルーマニア政府が保有。
金融	ベイポイント・サービス	イノヴァ・キャピタル	ポーランド		2021年4月	5,000万ユーロ	ポーランドのプライベートエクイティファンド、イノヴァ・キャピタルがルーマニアの金融サービス業、ベイポイントの買収を完了。
IT（フィンテック）	フィンテックOS	ドレイパー・エスプリ 他	英国		2021年4月	6,000万ドル (他社による出資額との合計)	フィンテックOSは、ドレイパー・エスプリ、アーリーバード・ベンチャーキャピタル、ローンチハブ・ベンチャーズ、OTBベンチャーズ、ギャップマインダーなどのベンチャーキャピタルから6,000万ドルの資金を調達したことを発表。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

表4 ルーマニアの主な対外直接投資案件（2021年1月～2022年4月）

＜M&A以外＞					
業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要
ソフトウェア	wbe トラベル	米国	2022年4月	非公表	旅行ビジネス向けソフトウェア開発会社のwbe トラベルは、ラスベガスに新たにオフィスを開設したと発表。米国の旅行業界におけるビジネス拡大を目指す。
リサイクル	グリーングループ	スロバキア	2021年9月	1,200万ユーロ	ルーマニアのPETボトルリサイクル大手グリーングループは、再生プラスチック顆粒の生産ラインをスロバキアに新設すると発表。
ソフトウェア	ファイヤバイト・ゲームズ	トルコ	2021年5月	非公表	携帯用ゲーム開発会社のファイヤバイト・ゲームズは、トルコ・イスタンブールに子会社を開設したと発表。
ソフトウェア	ドゥルイド	米国 英国	2021年10月	非公表	会話型AI分野を牽引するドゥルイドは、欧州と米国における更なるビジネス拡大を目指し、ヒューストンとロンドンのオフィスを拡張したことを発表。

＜M&A＞						
買収企業 企業名	被買収企業（事業）			時期	投資額	概要
	業種	企業名	国籍			
Afi ヨーロッパ・ルーマニア	商業用不動産	アヴェニール・ビジネスパーク	チェコ	2021年4月	7,100万ユーロ	英国の不動産投資会社トリスタン・キャピタル・パートナーは同社が有していたチェコのアヴェニール・ビジネスパークをAfi ヨーロッパ・ルーマニアに売却したと発表。
スーパーベット・インタラクティブ	遊興	ナポレオン・ゲームズ	ベルギー	2021年7月	非公表	オランダのウォーターランド・プライベート・エクイティが所有していたベルギーのカジノ運営企業、ナポレオン・ゲームズの全株式をルーマニアのスーパーベット・インタラクティブが買収することを発表。
デントータル・グループ	歯科用機器・器具製造	デンタテクニカ	ブルガリア	2021年8月	非公表	歯科用品販売大手のデントータルは、ブルガリアの歯科用機器製造・販売の最大手デンタテクニカの買収に署名したことを発表。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

倍に拡張する。

ルーマニア国立銀行によると、2021年の対外直接投資は1億1,930万ユーロ（国際収支ベース、ネット、フロー）と、前年の4,648万ユーロの引き揚げ超過からプラスに転じた。2021年末時点の対外直接投資残高は27億9,300万ユーロで、前年末から16.2%増加した。ルーマニアのスタートアップに対するベンチャーキャピタル（VC）の投資額は2021年に1億1,694万ユーロと、2020年の3,039万ユーロから3.8倍となり、初めて1億ユーロを突破した。VC投資を財源に海外事業を展開した例として、AIチャットボット開発のドゥルイドが10月に欧州と米国における更なるビジネス拡大を目指し、ヒューストンとロンドンのオフィスを拡張したことを発表した。

■たばこ製品の輸出減により貿易黒字が減少

2021年の対日貿易は、輸出が前年比12.0%減の3億9,400万ユーロ、輸入が20.7%増の3億5,900万ユーロとなり、前年に引き続き対日貿易収支は黒字だったが、黒字額が3,500万ユーロに減った。

対日輸出を主要品目別にみると、木材・木炭（構成比48.3%）が前年比42.3%増となり最大品目となった。2020年に前年比4.4倍に増加したたばこ・たばこ製品（33.4%）は49.2%減となったが、新型コロナ感染拡大前の2019年との比較では2.2倍の規模を維持した。また、天然蜂蜜（0.4%）は14.1%減少したものの、前年に引き続きEU、英国以外では、日本が蜂蜜の最大の輸出相手先となり、EUを除く総輸出額の37.9%が日本向けに出荷された。

対日輸入を主要品目別にみると、最大品目である輸送用機器（構成比29.9%）が前年比45.6%増と大幅に増加した。そのうち、自動車・トラクター部品（9.5%）が2.4倍と大きく伸びた。そのほか、電気機械・電気機器（17.4%）が28.0%増と好調だった。

表5 ルーマニアの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2020年		2021年			2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
木材・木炭	134	190	48.3	42.3	輸送用機器	74	107	29.9	45.6
たばこ・たばこ製品	259	132	33.4	△ 49.2	自動車	56	68	19.0	21.3
電気機械・電気機器	8	30	7.6	255.7	自動車・トラクター部品	14	34	9.5	139.0
光学機器・精密機器	15	8	2.1	△ 42.6	電気機械・電気機器	49	63	17.4	28.0
ゴム・ゴム製品	5	5	1.3	2.7	原子炉・ボイラー・機械類	61	59	16.4	△ 3.8
衣類・衣類付属品（編んでいない物）	6	4	1.1	△ 24.1	鉄鋼製品	20	21	5.9	4.4
輸送用機器	3	3	0.9	1.8	ゴム・ゴム製品	10	18	4.9	81.3
自動車・トラクター部品	2	2	0.5	△ 15.7	鉄鋼	21	15	4.2	△ 29.4
原子炉・ボイラー・機械類	3	3	0.8	△ 5.0	プラスチック・プラスチック製品	14	13	3.7	△ 3.6
衣類・衣類付属品（編み物）	2	2	0.6	4.9	光学機器・精密機器	9	13	3.5	41.4
家具、その他	1	2	0.6	71.5	医薬品	2	9	2.6	326.5
プラスチック・プラスチック製品	2	2	0.4	2.6	非金属のその他の物品	5	6	1.5	4.1
乳製品、卵、蜂蜜、動物由来の食用製品	2	2	0.4	△ 14.1	その他の化学製品	4	5	1.5	21.4
天然蜂蜜	2	2	0.4	△ 14.1	フェルト、不織布および特殊糸	3	3	0.9	6.8
合計（その他含む）	448	394	100.0	△ 12.0	合計（その他含む）	297	359	100.0	20.7

〔出所〕ルーマニア国家統計局

■日系企業の投資はインフラやベアリング製造が中心

日系企業による2021年の投資事例としては、ヨコガワ・ヨーロッパのルーマニア支店が4月、ブカレスト市の電力会社ECLLENが1972年から運営するコージェネレーション（熱電併給）発電所向けに、横河電機の効率化システムを導入したと発表した。IHI インフラシステムは2018年1月に政府と調印

したドナウ川下流ブレイラ県の吊り橋建設を進めており、8月に吊り橋のキャットウォーク（メインケーブルを架設するための空中作業足場）の完成披露式典を開催した。メインスパン（中央径間）は1,120メートルで国内最長、世界24位の長さを誇り、2022年内に完成する予定。丸紅が2019年に完全子会社化したポルトガルの水道事業会社であるAGSは10月、コンスタンツァ市の水道事業者から無収水（配水管からの漏水や違法な使用による盗水など）改善プロジェクトを開始したと発表した。2025年まで調査を継続する予定。製造業ではベアリング製造の光洋ルーマニアが投資額2,760万ユーロのうち、機械・設備調達資金の一部として541万ユーロの国家補助金を受給した。同じくベアリング大手のNTNは6月、ルーマニア・シビウ市の工場敷地内にテクニカルセンターを開設した。なお、政府は2021年4月に公共調達規則を改定し、入札やサービスのコンセッションで欧州経済地域（EEA）の加盟国、WTOの政府調達協定国、EUへの加盟過程にある国、その他の国際協定を締結した国以外の事業者からのアクセスを制限したが、日本はWTOの政府調達協定に加盟しているため制限の対象ではない。

主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口：2,205万人（2021年）			
②面積：23万8,398km ²			
③1人当たりGDP：1万4,667米ドル（2021年）			
④実質GDP成長率（%）	4.2	△ 3.7	5.9
⑤消費者物価上昇率（%）	3.8	2.6	5.1
⑥失業率（%）	3.9	6.1	5.6
⑦貿易収支（100万ユーロ）	△ 17,424	△ 18,795	△ 23,139
⑧経常収支（100万ユーロ）	△ 10,480	△ 10,983	△ 16,951
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	36,931	45,889	45,821
⑩対外債務残高（グロス） （100万ユーロ）	109,783	126,807	134,256
⑪為替レート（1米ドルにつき、 ルーマニアレイ、期中平均）	4.24	4.24	4.16

〔注〕①：在外ルーマニア人を含む、⑤：年平均、⑦：財のみ、⑦⑧：国際収支ベース、⑦⑧⑩：2021年のみ暫定値、⑨：金を除く
〔出所〕①②④⑤⑥：ルーマニア国家統計局、③⑨⑪：IMF、⑦⑧⑩：ルーマニア国立銀行

（お問い合わせ先）

海外調査部 欧州ロシアCIS課

ORD@jetro.go.jp

変更履歴

文章中に誤りがありましたので、次のように訂正いたしました。（2023年9月13日）

P4 ■ たばこ製品の輸出減により貿易黒字が減少

（誤）ほぼ全量がブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ルーマニア（BAT Romania）の製品だった。また、天然はちみつ（0.4%）は14.1%減少したものの、前年に引き続きEU、英国以外では、日本が蜂蜜の最大の輸出相手先となり、総輸出額の37.9%が日本向けに出荷された。

（正）また、天然はちみつ（0.4%）は14.1%減少したものの、前年に引き続きEU、英国以外では、日本が蜂蜜の最大の輸出相手先となり、EUを除く総輸出額の37.9%が日本向けに出荷された。